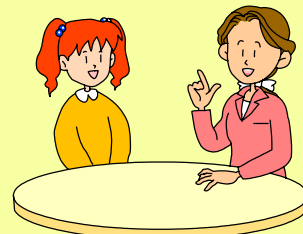


家庭でのインターネット利用

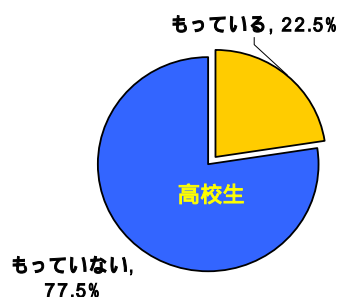
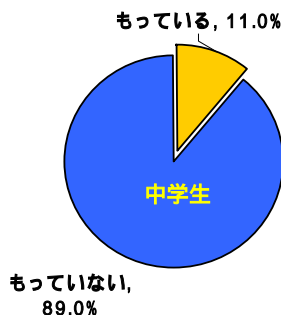
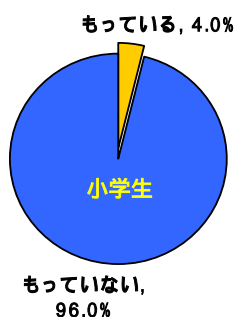
ブログには、どのような危険性があるの？

小学校5年生から高等学校3年生までを対象として、平成18年11月に実施した「情報モラルにかかわるアンケート」によれば、携帯電話やパソコンから見ることができる自分のWebページやブログサイトを持っている子供たちの割合は、下のグラフのような結果でした。

学年が上に進むにつれて、その割合は高くなり、高校生は約4分の1がもっているという実態が見られます。最近では、携帯電話を利用して手軽に自分のブログサイトを持つことができるようになり、その割合は、今後さらに増加することが予想されます。保護者の皆さんは、ブログについてどのくらい知ってみえますか？今回は、ブログについて考えてみましょう。



あなたは、携帯電話やパソコンから見ることができる自分のホームページ(ブログ含む)を持っていますか？



平成18年11月 岐阜県教育委員会実施
「情報モラルにかかわるアンケート」より

ブログって何？

「ブログ」とは「ウェブログ(web-log)」を略した言葉で、「Web上に残される記録」というような意味を持ちます。ブログの中には、社会問題などを扱ったものから、興味のあるニュースに個人の考えや意見を加えたもの、個人的な日記やエッセイ、カメラつき携帯電話で撮った写真を載せたものなど、さまざまなテーマ、内容のものがああります。しかしブログが広がるにつれ、短いWeb日記のようなものが主流となるようになってきました。

Point

思いやりの心を大切に...

相手が見えないからこそ、普段の会話以上に書くことを考える必要があります。自分の言葉に責任を持つことが大切です。

心あたたまるブログとは、どのようなものかを考えてみましょう。

ブログが持つ危険性...

インターネットの普及につれて、多くの人が個人のWebサイトで日記をつけ始めようになりました。Web日記は紙の日記とどのような点が異なるのでしょうか？

インターネット上で、内容が広く一般に公開されている。ほかのサイトからリンクされたり、論評されたりする。電子メールなどを通じて著者と読者がコミュニケーションをはかることができる。特定の話題について電子掲示板で多人数で議論することが容易である。



簡単に言えば「インターネット上の日記」で、公開しているわけですから、「誰に見られても良い」と思う日記を書かなければ、トラブルの元になってしまいます。書いた内容によっては、けんかになったり、いじめに発展したり、或いは個人情報を公開してしまったりということになります。そんなことにならないような配慮が必要です。